

八幡平市教育委員会会議録

令和元年12月25日（水）

八幡平市教育委員会

令和元年 12 月八幡平市教育委員会定例会会議録

1. 開催日時

令和元年 12 月 25 日（水）午後 3 時 00 分から午後 3 時 43 分

2. 場所

八幡平市役所本庁舎 3 階 大会議室

3. 出席者

教 育 長	星	俊 也
委 員	羽 沢	憲 英
委 員	宮 野	朋 士
委 員	高 橋	優 子
委 員	伊 藤	政 行

4. 欠席者

なし

5. 説明等のため出席した職員

教育総務課長兼学校給食センター所長兼図書館長	工 藤 久 志
教育指導課長兼教育研究所長	川 村 憲 弘
教育総務課長補佐兼総務係長兼学校給食センター副所長	佐々木 由理香

6. 傍聴者

なし

7. 教育長あいさつ要旨

11 月定例会後の主な行事等について報告

1) 11 月 29 日（金）第 2 回教育支援委員会

2) 12 月 3 日（火）コミュニティスクール研修会があり、コミュニティスクールマイスターの野沢先生からご指導いただいた。先生の言葉の中でコミュニティ・スクールの取り組みは、焦らず楽しみながら取り組んでくださいという言葉が印象に残っている。

3) 12 月 4 日（水）4 日から第 4 回定例会と議会議員全員協議会がもたれた。

4) 12 月 5 日（木）大更小学校で「きこえの学級・ことばの教室」学習発表会が行われ、17 人の子どもたちが音読や読み聞かせで、学習の成果を発表した。

同じ日に、第3回平館高校PTA常任理事会に参加し、平館高校の存続、活性化・魅力化のためにも、高等学校生徒にも給食の提供をしてもらうことを検討してもらえないかと、PTAからの意見があり、今後検討したいと思っている。

- 5) 12月7日(土)八幡平市教育振興運動安代実践区・田山実践区合同実践交流会がもたれ、初めての合同交流会だったが、それぞれの地区の良さが発揮された良い交流会だった。
- 6) 12月11日(水)第2回幼保小連携研修会では、スタートカリキュラムについて話があった。
- 7) 12月12日(木)安代小学校でことばの学習発表会が行われ、9人の子どもたちが学習の成果を、クイズ・短い劇などにしながら発表してくれた。
- 8) 12月16日(月)大更駅前顔づくり施設・複合施設整備に係る庁内検討会議が行われた。この中で市立図書館の機能を、この顔づくり施設に移すという方向性が打ち出された。
同じ日に、松野小学校でことばの教室学習発表会が行われ、21人の子どもたちが、詩や作文等の暗唱朗読をしてくれた。
- 9) 12月18日(水)第9回校長会議では、JRC活動、青少年赤十字活動について、あるいは冬休み中のゲーム、SNS関係の取り扱いについてなどを校長と確認をした。
- 10) 12月19日(木)第2回社会教育委員定例会議がもたれ、図書館等の施設利用、コミセンの授業等の参加状況について情報交換がなされた。
- 11) 12月21日(土)田山スキー場のスキー場開きが行われたが、今年は雪が少なく、開いたもののまだ滑れない状況とのことである。
- 12) 12月23日(月)八幡平市男女共同参画等策定委員会に参加した。教育委員会関係では、小中学校の男女混合名簿が92%実施されているなどの報告がされている。
- 13) 12月24日(火)第1回八幡平市立学校給食センター運営委員会が行われた。事故なく、おいしい給食を提供できており、食に関する指導も大変順調に進んでいると報告している。
- 14) 12月25日(水)定例会

1月の主な行事について報告

- ・ 1月3日消防出初式
- ・ 1月7日教育研究所研究発表会
- ・ 1月9日第2回八幡平市総合教育会議
- ・ 1月15日岩手県教育振興推進大会がアイーナで行われる。八幡平市の取り組みについて県から要請を受けており、小野先生が中心となり、子供リーダー研修会等々、これまでの取り組みをまとめて発表していただく。
- ・ 1月22日教育委員会1月定例会
- ・ 1月31日県立高校再編計画についての第4回地域検討会議

8. 報告事項の要旨

(教育総務課)

・12月定例議会の一般質問について、5名から通告を受けた。

1人目は、投票率の向上と学習活動という大項目の中で、小中学生の模擬投票と議会傍聴について取り組んではいかがかという内容だった。実際、模擬投票的には児童会生徒会での役員の投票という機会を通じて、選挙に参加するという体験をしているとともに、傍聴についても、今後の活動の中で取り組めるかというのは、検討していきたいという答弁をしている。

2人目は、学校教育等サポート授業ということについての質問だった。最初は、JRC、青少年赤十字による取り入れの目的と効果について、もう一点は、市はいろいろ支援員を配置しているが、その支援の状況。来年度から会計年度任用職員の方に移行するが、そういった影響についてと、中学校の保健室の利用状況と養護教諭の配置状況について通告された。その中で、本年度の保健室利用状況としては、中学校一校あたり250～260人の利用がある。松尾中学校は突出して多く、400人を超えている。安代中学校の方が少ない状況になっているが、小学校と違って中学校はどうしても頭痛や腹痛、吐き気など、部活の大会前の疲れから来る体調不良、休み明けの生活リズム、スマホの利用にも関与するのかなと思うが、そういったところから体調不良になったケースが多いと伺っている。養護教諭については、各校1名ずつ配置されているという状況である。会計年度任用職員というのは、1年を通しての任用で、待遇の改善も図るということで、ボーナス的な手当も今度支給される。そのことから、1日当たりの日給が少なくなるのではないかと、時間はどうなるのか、そういった心配をされての通告である。実際、支援について年間を通じた時間というのは、今までの1,015時間から1,050時間以内ということで、時間としては長い形で任用ということになる。年間を通じた支給される額としても、手当がつく分年間とすれば今までよりは微増するという形になる。実際、子どもたちに向き合う時間は、むしろ増えるのではないかとということで、懸念はしていない。

3人目は、防災・減災についてということで、市内小学校における防災教育の現状を答えている。もう一点は、教員の働き方改革とメンタルヘルスについて、小中学校教員の勤務状況、学校現場での多忙化解消の取り組み、事務職員や外部人材の参画と、精神疾患の教職員の休職の状況について答えている。精神疾患の方は、今年度現在ここ数年で捉えると少ない状況である。メンタルとして休まれている方は、昨年度までは複数名だが、今年度は1名という状況である。

4人目は、教員の変形労働時間制についての影響と対策ということで質問を受けた。夏休みに集中的に休みを取れるようにするために、その分をある程度平常の月に割り振りをして、16時45分のところを実際は17時30分にシフトしながら、夏休みを長く確保できるようにするという趣旨の制度改正

である。それによって、平日の時間が長い時間の勤務が、常態化する弊害というのが心配されているところもある。文科省の方で検証して指針が出され、各都道府県市町村が条例制定に向けて検討するということになる。

5人目は、給食費の完全無償化についての進展についての質問であるが、答弁も従来通りである。年間にして7千万を超える支出を、未来永劫継続的に実施できるか、財源の問題が一番大きいと思う。何かしらの支援をして、国、県、市町村そういった負担の手法ができれば、幼保教育無償化のような形で実現するよう、要望の声をあげていく必要がある。

・大更顔づくり施設図書館の入居にかかる案件について、最初は3階建てを想定して、1階は観光分野、2階は子育て支援、3階は子ども図書館的な一部機能という想定で、いろいろ検討してきたが、市長はあそこをワンフロア上昇して、3階・4階を図書館の本館機能にする検討をしてはどうかという話になった。駐車場の面で心配な話もあるが、面積的には2フロア使えば持ち合わせることはできるという前提があれば、中の機能を検討してみたいということだった。

・給食センター運営委員会では、給食費について各自治体値上げに踏み切る状況が見られる。実際、主食、牛乳、乳製品、調味料関係は消費税引き上げ以前の価格、実際の価格自体が値上げに踏み切らないといけないという情勢にきている。子どもも4月からの情勢と見比べながら、どの辺まで上げていかないといけないのか、今後、給食費のみで運営するには、非常に厳しい状況もあるので、引き上げを前提とした、運営委員会で協議をはじめていきたいということで確認をした。

(教育指導課)

・第2回教育支援委員会では、市内小中学校に在籍する児童生徒9名の、望ましい就学について検討した。現在、保育園の年長児で来年4月に小学生になる幼児3名につきましても、望ましい就学の検討の対象となっている。9名の在学児童生徒については、現在、各学校が教育支援委員会の望ましい就学の案を踏まえて、保護者と相談を進めている。年長の幼児3名については、保護者が当該幼児に対するより手厚い支援を希望されており、3名全員が県立の特別支援学校への入学を希望している状況である。

・コミュニティ・スクール研修会では、来年度4月から全小中学校が学校運営協議会を設置して、コミュニティ・スクール事業を推進する。来年4月にスタートする、小中学校8校の関係者を中心に30数名集まった。講師はこれまで何度も八幡平市に来ていただいている、コミュニティ・スクールマイスターの宮城教育大学野澤令照先生にお願いした。コミュニティ・スクールの良さや、現時点での八幡平市の取り組みを踏まえてアドバイスをいただき、参加者にとって有意義な研修にすることができた。八幡平市が目指す、郷土を愛し大切にすることの育成を目指して、地域とともにある学校の実現に向けて、取り組みの充実を図っていきたいと考えている。

・第2回幼保小連携研修会では、市内の幼稚園、保育所、子ども園の先生方、各小学校1年生の担任が集まって、小学校入学の際の適切な連携について研修を深めている。特に、各小学校で作成されているスタートカリキュラムを題材とし、より効果的な内容や、指導内容を踏まえた卒園に向けた園での指導などについて、協議している様子がみられている。各学校では研修会での協議をもとに、カリキュラムの見直しを行うことになっている。

9. 報告事項についての質疑
なし

10. 議案

報告第1号 「議会の議決を経るべき議案について」（令和元年度一般会計補正予算第4号）

11. 議事の概要

○星教育長

報告第1号「議会の議決を経るべき議案について」を事務局から説明お願いいたします。

○工藤教育総務課課長

（資料に基づき説明）

○星教育長

はい、ありがとうございました。

報告第1号について説明がありました。ただいまの説明に関しまして、質問等ありましたらご発言お願いいたします。

よろしいでしょうか。

（委員から「なし」の声あり）

それでは質疑を終結致します。お諮り致します。報告第1号「議会の議決を経るべき議案について」を承認することでご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○星教育長

異議なしと認め、報告第1号は原案の通り承認されました。

続きまして、「5その他」に入ります。

「東京2020オリンピック聖火リレーについて」地域振興課から説明をお願いします。

○東本地域振興課長補佐

東京2020オリンピック聖火リレー及び聖火ランナーについてと、パラリンピック採火式の日程についてお知らせします。東京オリンピックの聖火は、来年3月下旬に福島県を皮切りに日本全国を回りますが、岩手県につきましては、6月17日から19日の3日間の期間で行われます。その中で八幡平市は、

聖火リレーのルートが6月17日水曜日午前中でございます。ルートは、焼走り溶岩流、具体的には焼走り溶岩流展望台をスタートしまして、焼走り国際交流村、岩手山銀河ステーション天文台、距離にして1.3kmの中を、複数的人数でリレーで行うものであります。日程は先週の12月17日に組織委員会から公表されましたので、それ以外の詳細については話してはいけないという規制がかかっていることから、なかなかご質問があっても答えられないところがあるのですが、10時から11時くらいの間でセレモニーが行われます。公表されました岩手県が推薦して組織委員会で承認されたPRランナーは、八幡平市出身の小林陵侑選手でございます。もう一人公募ランナーと言いまして、岩手県が同じように組織委員会で募集された、岩手県が公募したもので選ばれた公募ランナーで高橋陸さん、西根中学校の生徒さんです。このたび委員のみなさんに報告することといたしましては、その日学校の行事で、是非聖火リレーを見ていただきたいなという取り組みを、来月の校長会でお願いしたいと計画しているところです。もう一つは、同じく東京2020パラリンピックの採火式でございますが、これは今のところ8月15日、場所は八幡平市松尾総合運動公園のヘリポートです。八幡平市の花火祭りが始まる前に、採火式ということで、リレーではなく持ってきた火をおこして、かがり火なりそういうもので火を灯すセレモニーでございます。これにつきましては、八幡平市とか県内33市町村全自治体で、8月13日から8月17日に間に行われます。行われた火は熾火として保管し、8月17日に盛岡市で県主催の合同集火式を行い、その日に東京に持って行き、8月25日のパラリンピック開会式で灯す計画です。以上が今地域振興課で考えている東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー・採火式の計画です。

○星教育長

はい、ありがとうございます。

その他委員の皆さん方から何かありましたらお願いします。

(委員から「なし」の声あり)

はい特にないようですので、これを持ちまし八幡平市教育委員会定例会の部分は閉じさせていただきます。ありがとうございます。